

討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.70
2018年3月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

平成30年第1回

3月市議会定例会

市政に関する報告

施政方針から

平成29年2月26日～

3月26日までの29日間

市長提出議案

今議会に提出された議案は、まず、予算議案が16件です。平成30年度一般会計におきましては、対前年度当初比1.3%減の1892億1000万円、特別会計は13会計で、対前年度当初比8.0%減の1453億5941万7千円、企業会計は2会計で、対前年度当初比0.7%増の389億4400万円となり、全会計では、対前年度当初比3.8%減の3735億1341万7千円です。

一般議案は、地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例等の条例議案45件、訴えの

提起議案1件、包括外部監査契約の締結議案1件、市道路線の認定及び廃止議案4件、和解議案1件、人事議案1件です。

平成30年度 予算案について

「選ばれるまちの実現」「地域経済の強化・好循環の創出」「社会資本・公共施設の整備」等の観点から、中核市移行関連事業、待機児童対策、市民利用施設の改修促進等の必要な事業量を確保すると同時に、過去最高の市税収入を見込み、基金を積極的に政策運営に活用することです。市民に還元する一方、地方債の残高を3年ぶりにマイナスとする歳入確保及び健全財政の維持にも努めながら、3大プロジェクト関係予算を除くと約54億円増の積極的な予算案となりました。

地域経済の強化・好循環の 創出について

市産品フェアはこれまで3回実施して参りましたが、毎年多くの方にご来場いただくとともに開催中の商談件数も増加していることから、本市に定着したものと考え、平成30年度も開催します。また、中小企業都市サミットを、この市産品フェアに併せて本市で開催いたします。中小企業が集積する全国7都市の自治体と商工会議所の首脳が一堂に会し、中小企業振興に関する共通の課題を協議し、中小企業支援のための共同宣言や国に対する提言を行なっていく予定です。

更に、毎年開催しているSKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、本年度15回目を迎えることから、本市を舞台とした映画を制作しオープニング作品として上映する予定であります。



前回の川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり

そして11月1日には、4年ぶりとなる「第3回 川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」を開催します。



SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

戸塚環境センターの 施設整備について

衛生的な生活環境の維持のため、適切な更新が必要であることから、現在、「川口市戸塚環境センター施設整備基本計画」の策定を進めています。

この施設整備は、極めて規模の大きな事業であることから、コスト削減に最大限努力することを前提に、廃棄物行政に係る事務事業の見直し等により、財源の確保に努めるとともに、市民の皆さんや審議会のご意

見を賜り、焼却処理方式や施設規模などを定め、生活環境に配慮し災害発生時にも対応できる安全・安心な施設の整備に取り組んでいきます。



戸塚環境センター 東棟

街路整備事業等について

里上青木線区間内の芝川に架かる新橋の整備が完了し、里上青木線が3月17日に全線開通しました。これにより、SKIP

シティや川口市立高等学校とSR鳩ヶ谷駅間が、直線でつながります。また、新橋の名称につきましては、公募により「SKIP橋」と決定しました。

引き続き、平成30年度におきましても、周辺の関連事業を進め、交通利便性の向上と渋滞解消に取り組んでいきます。

芝第2・第5地区の土地区画整理事業につきましては、地域の方々と協働で検討を重ね、全面的に整備していく事業手法を見直し、いくつかの新たな事業手法を組み合わせ、段階的に整備を進めていくこととしました。

こうしたことから、まずは整備可能となった一部を「芝中央沿道第1土地区画整理事業」の区域と定め、早期完了を目指し、平成30年度より本格的に事業を実施していきます。

社会資本・公共施設について

リリア、小中学校、公民館、スポーツ施設等の市民が利用する施設について、時間の経過とともに設備等の老朽化が目立っています。これに対応するため、収納率の向上による市税収入の増額分のほか、基金も財源として活用しながら、設備等の改修、修繕を積極的に進めていきます。

社会の成熟化に伴い、社会資本・公共施設を新しく整備することから、今あるものを直しながら有効活用していくことに重点がシフトしつつあります。人口増が続いている本市においては、新しく整備していくニーズもまだまだあると感じておりますが、このような新規整備から維持修繕・利活用へ、という大局的な流れにも目配りしていきます。

※これまでのレポートは市長の施政方針を抜粋・加筆して作成しております。

川口市立高等学校の学力向上支援について

川口市立高等学校の学力向上支援

川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略
「新市立高等学校における学力向上支援」

平成30年度 学力向上支援事業
H30予算額 17,063千円

① 3つの最適化による 教育環境の整備

(1) 学習到達度の最適化

- ・習熟度別授業を実現するための環境整備
- ・オンデマンド講義動画の受講環境整備

(2) 教育機会の最適化

- ・海外派遣制度の推進
- ・定時制課程の設置

(3) 学びの最適化

- ・理数科の設置と、普通科コース制の導入
- ・学習支援員の配置

新たな学び(アクティブラーニング)のサポート/
ICT授業サポート講師の配置
アクティブラーニングやICTを活用した授業を支援するためのサポート講師を配置

グローバル教育展開講師の配置
グローバル人材の育成に向けて、英語4技能(聞く・話す・書く・読む)の育成を目的とした授業を展開

理数教育の充実(理数科対象)
お茶の水女子大学との連携により、新たに設置した理数科において、理数系探究活動を展開

自習室学習支援
放課後自習室において、大学生による学習支援を実施し、生徒の自学力を育成

② 教職員の資質向上

- ・指導主事による学校訪問の充実
- ・大学と連携した教職員研修会の実施

大学等研究機関との連携
(順天堂大学、東京理科大学、東京大学CoREF、お茶の水女子大学)
スーパーアドバイザー・学校アドバイザーによる指導・助言を受け、教職員の資質向上を図る

平成30年度の中核市移行に伴う市の新たな施策について

川口市は平成30年4月1日から中核市になります。中核市とは、政令で指定する、人口20万人以上の都市で、福祉行政・保健衛生行政に関する事務、都市計画に関する事務等を独自で行うことができるもので、埼玉県から2209の事務が川口市に移管されます。

1. 県からの移譲事務の充実等 ※各項目の枠内は主な充実内容の概要

①食品衛生監視指導及び感染症対応の強化		【平成29年度まで(県実施)】
・飲食店等への立入検査回数の増(約1,600件/年)		約1,100件/年
・営業許可申請等の確認項目に「排出ゴミの処理方法」を追加		なし
・感染症等の専門家によるアドバイザーチームを設置		なし
②地域経済や市の実情に配慮した特別養護老人ホーム整備の促進		
・設備の市内調達を促進する設備購入補助制度 市内調達額・1,000万円以上 → 補助金3,000万円/件 (市内調達額・1,000万円未満 → 補助金2,000万円/件)		補助金2,500万円/件
・偏在是正や多床室ニーズに対応した施設工事補助制度 補助金 300万円/床 個室型施設 → 市街化区域限定 多床室型施設 → 市内全域		原則、個室型300万円/床・地域要件なし (県は個室型を基本に認可制度を運営)
③「貧困ビジネス」に関する規制の強化(条例議案を3月定例会に上程)		
・無料・低額宿泊施設の「金銭管理サービス等」を規制 ・契約前の説明文書交付を義務付け ・衛生管理、火災予防、家賃水準などに関する規制の明確化		ガイドラインによる指導
※条例は、住居提供、生活支援も含んだ宿泊施設を活用した貧困ビジネス全体を規制するもの		
④土砂堆積に関する規制の強化(川口市土砂の堆積等の規制に関する条例)		
・許可が必要な堆積区域の面積を500㎡以上に設定		3,000㎡以上

2. 中核市移行を契機に実施する新規拡充事業

①おたふくかぜワクチン費用助成制度の創設 平成30年予算額 18,720千円
・1回分・3,000円を助成(対象:1歳～未就学児)
②県外医療機関での予防接種費用助成制度の創設 平成30年予算額 7,576千円
・里帰り出産等による県外医療機関での定期予防接種費用を助成
③胃がん検診の助成対象に胃内視鏡検査を追加 平成30年予算額 27,544千円
・自己負担2,000円で2年に1回検診を受けられるよう費用を助成(対象:50歳以上)
④口腔がん検診費用助成制度の創設 平成30年予算額 3,520千円
・自己負担800円で年1回検診を受けられるよう費用を助成(対象:30歳以上)
⑤不妊治療費助成制度(国・県制度補助の上乗せ)の創設 平成30年予算額 24,000千円
・女性・男性ともに1回の治療につき3万円(3万円×最大6回 18万円)を国・県制度補助に上乗せ
※国制度補助(費用は国・市折半、市施行)は15万円(初回のみ30万円)×最大6回(40歳以上は最大3回)、43歳未満に限定。 県単独補助(費用は県全額負担、市施行)は15万円×6回(国制度補助を使い切った後、かつ、2人目以降の子ども)。
⑥飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用助成制度の創設 平成30年予算額 3,700千円
・メス:9,000円/匹、オス:5,000円/匹を助成
⑦肝炎ウイルス検査費用助成制度の拡充 平成30年予算額 4,418千円
・自己負担なしで検査を受けられるよう費用を助成(対象:20歳以上 未受診者1回のみ)
⑧市内医療機関マップの作成 平成30年予算額 10,000千円(初年度)
・かかりつけ医推進のため、市内診療所等のマップを作成(毎年度更新) ・HPで公開するほか、希望者には紙媒体を提供

編集発行

川口市議会議員

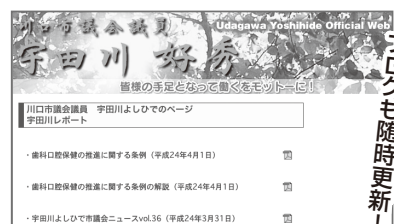
宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報
発信



活動情報を掲載！
ブログも随時更新！

宇田川レポート更新中!!

<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>